

# 緩和ケアの ちょっと タメになる話

Vol.19

第19回のテーマはこちら

## 「STAS-J から IPOS へ」

### ～主観的評価を取り入れた心強い新たな尺度～

緩和ケア関連でよく使用される尺度として「**STAS-J**」があります。

STAS-J は患者の苦痛を“**客観的に評価**”することができる尺度であり、意思疎通の困難な患者に対しても代理で苦痛評価ができるため、**世界的にも使われている**有用なものでした。

ただ少し、惜しいことに患者の“**主観的評価**”を測ることはできませんでした。

そんな STAS-J の後継版として改良がくわえられ、**患者の主観的評価を含めた(客観的評価も可能)**

**評価尺度**として誕生したのが **IPOS** (Integrated Palliative Outcome Scale) です。“**アイポス**”と呼びます。

IPOS の特徴を簡単にまとめると以下の点が挙げられます。

- ・直近 3 日間(もしくは 7 日間)の**包括的評価**ができる
- ・**10 項目**から構成されている
- ・各項目は0～4の 5 段階となっており、  
0が最も症状が軽い(問題が少ない)、  
4が最も症状が重い(問題が大きい)ことを意味する
- ・「**症状がどれくらい日常生活に影響を与えるか**」  
で評価するため臨床で使用しやすい
- ・**オープンクエスション**もあり、  
患者の問題点が柔軟に評価できる

小さくてごめんね。  
「IPOS」で検索するとすぐ見れます。

IPOS 患者版		この3日間についてお聞きします	
この質問は、あなたと他の患者さんケアの向上のために使われます。ご協力ありがとうございます。		全くない たまに とまどき たいがい いろいろ	
Q1. この3日間、主に大変だったことや気がかりは何でしたか？		0 1 2 3 4	
1. _____			
2. _____			
3. _____			
Q2. 以下はあなたが経験したかもしれない症状のリストです。それぞれの症状について、この3日間、どれくらい生活に影響があったか最もよく表しているもの一つだけチェックしてください。		0 1 2 3 4	
全く影響がなかった	少しあった	あった	ひどい
(0)	(1)	(2)	(3)
痛み	0 1 2 3 4	吐き気	0 1 2 3 4
悪酔い (酔い)	0 1 2 3 4	食欲不振	0 1 2 3 4
力や気力が足りない (疲れ)	0 1 2 3 4	不安	0 1 2 3 4
吐き気 (吐き)	0 1 2 3 4	便秘	0 1 2 3 4
嘔吐 (吐き)	0 1 2 3 4	下痢	0 1 2 3 4
夜尿頻回	0 1 2 3 4	睡眠障害	0 1 2 3 4
便秘	0 1 2 3 4	脱水	0 1 2 3 4
口の中が渇く	0 1 2 3 4	めまい	0 1 2 3 4
嘔吐	0 1 2 3 4	めまい	0 1 2 3 4
息苦しくなる	0 1 2 3 4	めまい	0 1 2 3 4
上記以外の症状があれば記入し、この3日間、どれくらい生活に影響があったか一つだけチェックしてください。		0 1 2 3 4	
1. _____	0 1 2 3 4		
2. _____	0 1 2 3 4		
3. _____	0 1 2 3 4		
Q3. 病状や治療のことで不安や心配を感じていましたか？		0 1 2 3 4	
Q4. 医療者(医師、看護師)は、あなたのために不安や心配を感じていましたか？		0 1 2 3 4	
Q5. 家族が寄り添うことはありましたか？		0 1 2 3 4	
Q6. 気持ちが落ち着いていられたらいいですか？		0 1 2 3 4	
Q7. 家族との関係や治療やケアに十分に関わっていられたらいいですか？		0 1 2 3 4	
Q8. 治療やケアについて、十分に説明されましたか？		0 1 2 3 4	
Q9. 病状の心配を減らして、気がかりなことに対してもらえたらいいですか？ (説明やケアを減らすことなど)		0 1 2 3 4	
Q10. このようにしてこの質問書に答えましたか？		はい いいえ	

IPOS を使用する主な目的は大きく2つ。

1. 患者の状況を包括的に評価することによる適切な介入ができる  
IPOS では症状による苦痛だけでなく、「**生活への支障**」を確認している。状態によっては症状そのものを改善することは困難でも、工夫次第で生活への支障を軽減し、QOL の向上を図ることは可能となる。
2. 患者とスタッフのコミュニケーションの促進を図ることができる  
IPOS を使用することで患者の気がかりや困りごとを把握し、その情報をもとに患者とのよりよいコミュニケーションにつなげることができる。 ※**スコアをよくすることだけが目的ではないので注意**

うまく使えば苦痛を抱える患者にとってもそれを援助する医療者にとっても非常に有用な尺度になるのでぜひ知っておいてほしいと思います。

あひるのマーチ